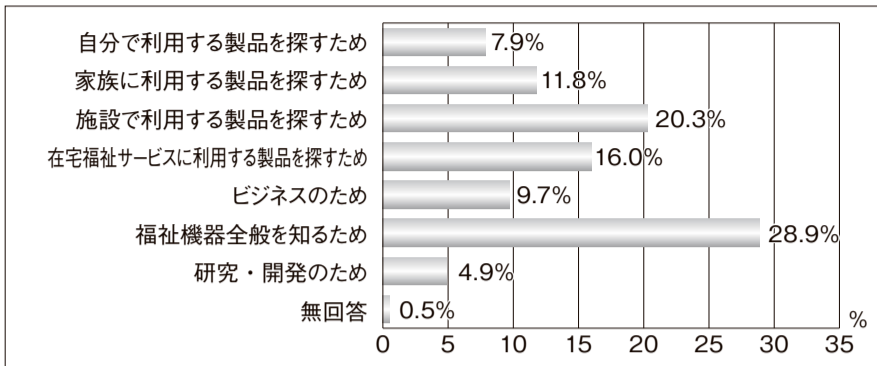
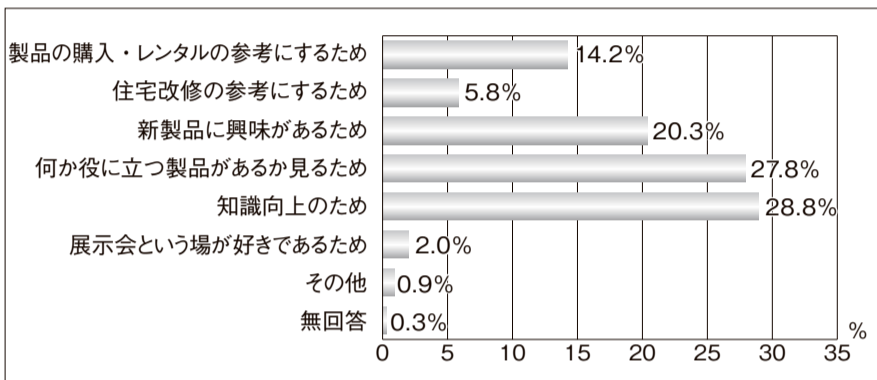


来場者アンケート — 6596件回収

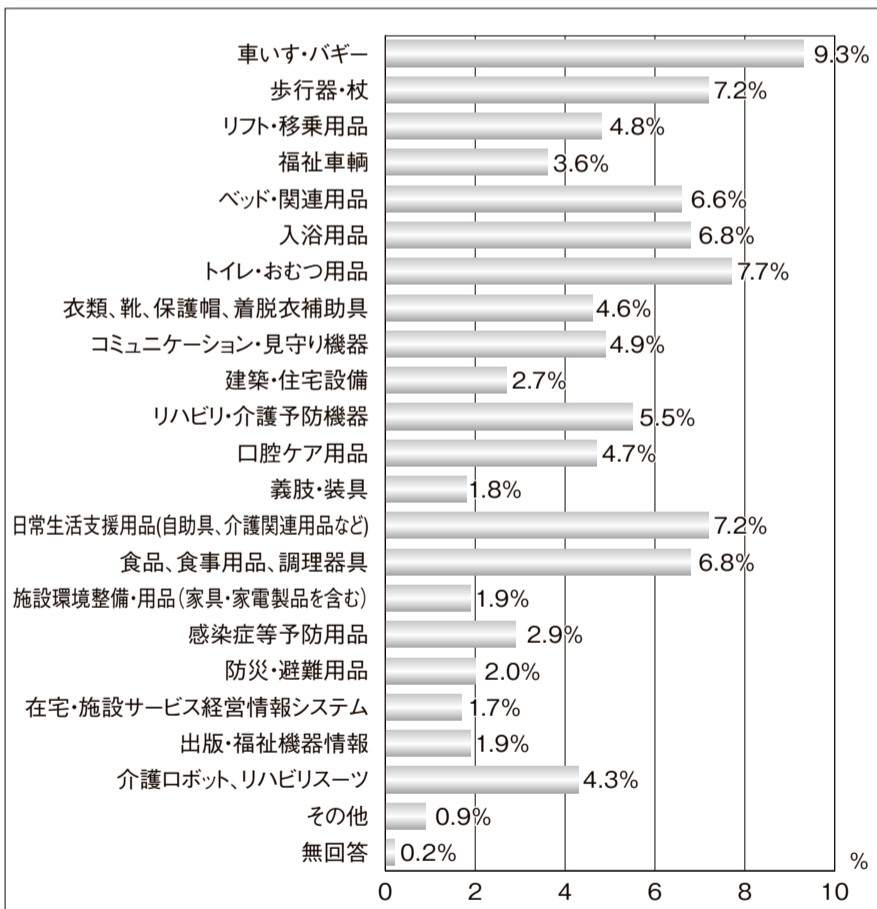
① 来場の目的は何ですか？（その1）〔複数回答〕



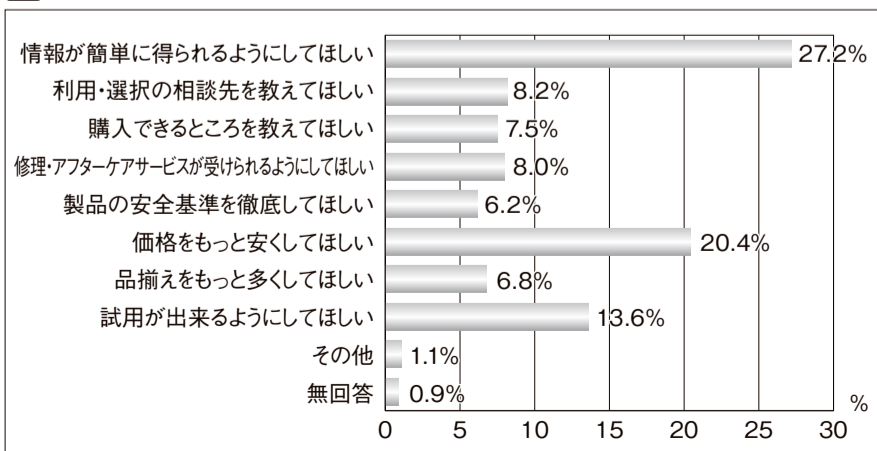
② 来場の目的は何ですか？（その2）〔複数回答〕



③ どのような製品をお探しですか？〔複数回答〕



④ 福祉機器の利用について、どのような要望をお持ちですか？〔複数回答〕



⑤ 福祉機器について（フリーアンサー 一部抜粋）

- 製品のデザインはもちろんのこと、色彩なども明るくものにするなど、工夫してほしいです。
- システム関係の進歩には、目を見張るものがあります。さらなる進化を期待します。
- レンタルできる機器の種類を、もっと増やしてほしいです。
- 製品の試用の機会を、もっと提供していただけるとありがたいです。
- 介護者の腰痛を予防するベルトなどを、積極的に普及してほしいです。
- 福祉機器に自由に触れられる施設や身近な店舗などについて、もっと情報提供したり、宣伝してほしい。
- 介護者のユニフォームがとてもおしゃれになり、よいことだと思います。
- 出展製品の値段が分かりにくいです。参考価格を、すべてインターネットに掲載できるようにしていただけるとありがたいです。
- 新商品のデモも大切だと思いますが、中古製品の販売情報などいただくと嬉しいです。
- 病院に入院した際など、早期からレンタルできて、色々な機器を試せると助かります。
- 利用者の自立支援につながり、生活が継続できるような機器のさらなる開発を望みます。
- リオ・パラオリンピックにより福祉機器に注目が集まる年となりましたが、2020年の東京大会では、機器のレベルの面でも世界に誇れるに日本にしたいです。
- 利用する人が使いやすい製品を。簡単に操作できるということに、もっとこだわってほしいです。
- 介護保険制度上の軽度者に対して福祉用具の貸与ができなくなる方向性は、とても困ります。
- 最新のロボットなどもよいですが、今の現実の生活をサポートできる機器がもっと知りたいです。
- 使い方にノウハウが伴う製品などは、解説用のDVDなどを付けてほしいです。
- 本当にピッタリとフィットする機器に出会えないのが、残念でいます。
- H.C.R.ホームページでチェックできる製品が限られています。より多くの製品を見られるようにしてほしいです。
- 自分たちの地域のどこに機器のレンタル業者さんがあるかについて、もっと情報がほしいです。
- 私の体型はかなり大柄なのですが、使える機器の仕様が少なく、困っています。
- 例えば、「地域での連携」をテーマに、役立つ機器を紹介するなどしてほしいです。
- 各メーカーの各々の製品の特徴に違いがあり、各メーカーの利点を組み合わせるとよりよい製品ができるように思うのですが、コラボみたいなことはできないものでしょうか？
- スーパーなどの身近な施設にスムーズに入るといった視点で機器を開発していただくと、もっと便利になりよいと思います。

⑥ H.C.R.について（フリーアンサー 一部抜粋）

- 現場でふとしたときに、今回見たり、聞いたりした情報や知識が役に立ったり、利用者さんにあったモノが提案できそうな気がします。
- 展示会場で思いがけず新たな出会いがあり、新しい情報を得ることができました。車の購入に向けて、幅が広がりました。
- かねがね自分が取り付けたいと思っていた部品の調達方法が分かったので、とてもよかったです。
- 生活支援ロボットの開発の現状について、最前線の情報を知ることができました。
- メーカーの方と直接お話ができたり、車いすの試乗をさせてもらったのは、とてもよかったです。
- 既に導入している機器について使い方で分からない点を質問できたり、最新の製品との比較もすることができたので、今後の導入の検討のためにも役立ちました。
- 施設向けのみならず、狭い日本家屋や団地での利用を想定した福祉機材の開発、展示をもっとしていただきたいです。
- 抱えている生活課題を解決できそうなヒントを、いくつかいただきました。
- 仕事の参考になる子ども用の遊具を見つけることができました。カタログをもらったので、保護者の方々に紹介できます。
- 開発・製造事業者の成果を比べて見ることで、貴重な機会だと思います。
- アルテック講座をはじめ、さまざまなセミナーやイベントもためになり、役立つ情報が入手できました。
- 車いすの試乗や歩行アシストの試着などは、展示会ならではの体験機会になりました。今後の仕事での活用を検討するよい材料となります。
- 知的障害者や精神障害者の支援のためのブース、企画コーナーもよかったです。
- H.C.R.は、私が愛用している機器のご担当の方の顔を年一回拝見できる機会となっています。
- コミュニケーションをとるための機器が、たくさんあることを知ることができました。興味深かったが、どうしても値段がネックになってしまいました。
- エコの視点に立った製品開発（介護のときに使う手袋を、植木鉢のように使用後に土に戻せる素材にする ・ 介助用のトイレを、畑の肥料や燃料として使えるバイオトイレにする）も、進めてほしいです。
- 年々、介護の領域の製品が多数を占め、障害者向けのが減少しているのが、見ていて分かります。特に、未来ある障害児の分野を広げてください。
- 介護・福祉機器の種類の変化、とりわけ、ITの波をひしひしと肌で感じるできました。
- カタログを郵送してくれるサービスのあるブースがあり、助かりました。もっと増えてくれるとよいと思います。
- 参加企業が増えすぎており、驚いています。展示されている機器はとても意義深く、実用的になり、レベルも上がっているのを感じます。
- 一部の出展企業ですが、施設名や連絡先を教えないとサンプルがもらえないなど、営業色の強すぎるブースがあり、気軽に覗くことができない感がありました。
- 以前に比べて、低価格な製品はかなりの増えたと感じますが、需要はまだ満たしていないし、これから需要は多様化していくことでしょう。乗り遅れることなく、むしろ先取りした開発を望みます。